

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月14日

上場会社名 マーチャント・バンカーズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3121 URL <http://www.mbkworld.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 一木 茂
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼財務経理部長 (氏名) 高崎 正年 (TEL) 03-5224-4900
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	896	△0.0	35	97.6	△20	—	△21	—
2019年3月期第2四半期	897	△2.9	17	—	△32	—	275	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △30百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 295百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△0.79	—
2019年3月期第2四半期	9.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	11,082	3,421	30.8	122.30
2019年3月期	11,115	3,508	31.4	125.41

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 3,408百万円 2019年3月期 3,494百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,100	8.5	250	141.0	120	—	80	△71.7	—	2.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	27,881,656株	2019年3月期	27,881,656株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	14,355株	2019年3月期	14,232株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	27,867,388株	2019年3月期2Q	27,867,531株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・将来に関する記述等についてのご注意

本資料における業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(以下「当第2四半期」)における我が国経済は、景気の緩やかな回復基調が続いており、各種政策等による雇用・所得環境の改善が続いている一方で、米中の貿易摩擦の激化や中東情勢の緊迫化などにより世界経済の動向や東アジアの政治情勢に留意していく必要があります。

当社グループの主要な事業領域についてみると、国内外の金融・不動産市場におきましては、低水準の空室率を背景に賃料の穏やかな上昇による収益率の向上が続いております。また、売買についても、金融緩和政策による低金利により相対的に安定した利回りを得られる不動産投資へのニーズは高く、引き続き投資需要は底堅い状況が続いております。ホテル・レジャー市場では、2020年の東京五輪開催や政府による観光立国推進に向けた各種政策等の効果もあり、アジア諸国を中心に訪日外国人観光客の増加傾向が続いております。

このような経済状況のもと、当第2四半期の当社グループは、新規賃貸用不動産の取得、オペレーション事業における各拠点の採算維持・向上のための施策など、安定的な収益力を強化するための取り組みを積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期の当社グループの業績は、売上高は前年同期に対して0.0%減少し896百万円となりました。各段階利益は、営業利益35百万円(前年同期比97.6%増)、経常損失20百万円(前年同期は経常損失32百万円)となりました。特に、前第2四半期に計上しました特別利益(投資有価証券売却益315百万円)が当第2四半期にはなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純損失21百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益275百万円)となりました。

報告セグメントごとの業績及び直近の状況は、次の通りであります。

(マーチャント・バンキング事業)

当社グループは、当事業部門におきまして、主に国内外の企業及び不動産向けの投資事業を営んでおります。

当第2四半期は、海外企業投資収入や収益用不動産を新たに1物件357百万円を購入したものの、大きな投資回収もなく、前年同期に対し、売上高339百万円(前年同期比1.1%減)の減収となりました。損益に関しては、所有不動産からの賃貸収入330百万円が寄与したことなどにより、セグメント利益118百万円(前年同期比12.6%増)を確保しました。

(オペレーション事業)

当社グループは、当社、株式会社ホテルシステム二十一(連結子会社)及び株式会社ケンテン(連結子会社)において、宿泊施設、ボウリング場、インターネットカフェ店舗及び服飾雑貨店の運営、並びに給食業務の受託を行っております。

当第2四半期は、令和への改元や大型連休による特需などにより個人消費の底堅さ、訪日外国人客数の増加に支えられ、主力事業となる「加古川プラザホテル」、株式会社ケンテンで運営する服飾雑貨店で堅調な運営を推移することができました。その結果、前年同期に対し、売上高は557百万円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は4百万円(前年同期比323.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産残高は11,082百万円で、前連結会計年度末に比べ32百万円減少しております。現金及び預金の減少346百万円、有形固定資産の増加265百万円が主な変動要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債残高は7,661百万円で、前連結会計年度末に比べ53百万円増加しております。長期預り敷金保証金の減少44百万円、長期借入金(1年内返済予定のものを含む)の増加136百万円が主な変動要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は3,421百万円で、前連結会計年度末に比べ86百万円減少しております。配当金の支払等に伴う利益剰余金の減少77百万円が主な変動要因であります。

この結果、自己資本比率は30.8%(前連結会計年度末は31.4%)となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」)は215百万円となり、前連結会計年度末の564百万円と比べて348百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローと、それらの主な増減の要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は3百万円(前年同期は131百万円の増加)となりました。主な増減の要因は、減価償却費97百万円、その他に含まれている営業投資有価証券の増加90百万円の計上であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は426百万円(前年同期は525百万円の減少)となりました。主な増減の要因は、有形固定資産の取得による支出362百万円、投資有価証券取得による支出75百万円、敷金及び保証金の回収による収入48百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動により増加した資金は74百万円(前年同期は629百万円の増加)となりました。主な増減の要因は、長期借入れによる収入310百万円、長期借入金の返済による支出173百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における業績経過は、2019年11月14日付で公表の「第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ」のとおりであります。

2019年8月7日付で公表の「MBKブロックチェーン、仮想通貨交換所「ANGOO Fintech」運営会社との業務提携(独占的パートナーシップ)の締結について」よりご説明させて頂きました、第1号案件に関する審査手数料並びにプロモーション手数料として受領しているコインの会計処理上の扱いについては、現在、確認中であり、2020年3月期通期の業績予想に与える影響につきましても、現在、精査中です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	579,855	233,348
受取手形及び売掛金	98,851	80,769
営業投資有価証券	304,126	385,714
販売用不動産	50,000	50,000
商品及び製品	1,587	1,458
原材料及び貯蔵品	7,112	8,161
その他	77,927	65,501
流動資産合計	1,119,462	824,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,285,482	5,417,070
土地	4,331,188	4,468,509
その他(純額)	61,459	57,802
減損損失累計額	△127,093	△127,093
有形固定資産合計	9,551,037	9,816,288
無形固定資産		
のれん	203,239	189,364
その他	3,405	3,308
無形固定資産合計	206,645	192,672
投資その他の資産		
投資有価証券	56,303	119,143
敷金及び保証金	90,081	42,081
その他	91,869	87,510
投資その他の資産合計	238,254	248,735
固定資産合計	9,995,937	10,257,696
資産合計	11,115,399	11,082,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,468	39,218
1年内返済予定の長期借入金	333,562	334,254
未払費用	83,725	65,615
賞与引当金	—	10,800
役員賞与引当金	—	660
株主優待引当金	1,135	—
その他	76,430	59,803
流動負債合計	540,322	510,351
固定負債		
長期借入金	6,916,550	7,052,082
長期預り敷金保証金	106,422	61,466
その他	43,840	37,102
固定負債合計	7,066,812	7,150,652
負債合計	7,607,135	7,661,003
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,848,568	2,848,568
資本剰余金	509,047	509,047
利益剰余金	157,712	80,015
自己株式	△2,949	△2,992
株主資本合計	3,512,379	3,434,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,547	△26,424
その他の包括利益累計額合計	△17,547	△26,424
新株予約権	13,433	13,433
純資産合計	3,508,264	3,421,647
負債純資産合計	11,115,399	11,082,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	897,203	896,982
売上原価	418,610	400,676
売上総利益	478,593	496,305
販売費及び一般管理費	460,870	461,280
営業利益	17,722	35,025
営業外収益		
受取利息	6	5
その他	5,366	5,500
営業外収益合計	5,372	5,506
営業外費用		
支払利息	44,410	52,222
支払手数料	4,740	4,988
その他	6,081	3,632
営業外費用合計	55,232	60,842
経常損失(△)	△32,136	△20,311
特別利益		
投資有価証券売却益	315,356	—
その他	19	22
特別利益合計	315,375	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	283,238	△20,288
法人税、住民税及び事業税	8,436	2,856
法人税等調整額	△736	△1,183
法人税等合計	7,700	1,673
四半期純利益又は四半期純損失(△)	275,538	△21,962
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	275,538	△21,962

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	275,538	△21,962
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,112	△8,876
その他の包括利益合計	20,112	△8,876
四半期包括利益	295,650	△30,839
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,650	△30,839

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	283,238	△20,288
減価償却費	89,033	97,506
のれん償却額	13,875	13,875
投資有価証券売却損益(△は益)	△315,356	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,080	10,800
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	660	660
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△35,545	△1,135
受取利息及び受取配当金	△6	△5
支払利息	44,410	52,222
売上債権の増減額(△は増加)	1,130	18,082
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49	△920
仕入債務の増減額(△は減少)	78	△6,249
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△3,730	△17,519
その他	90,514	△72,966
小計	178,334	74,060
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△43,341	△57,401
法人税等の還付額	2,760	—
法人税等の支払額	△6,061	△13,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	131,698	3,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,016,680	△362,659
投資有価証券の取得による支出	△20,113	△75,000
投資有価証券の売却による収入	512,643	11,695
定期預金の預入による支出	△2,400	△2,400
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△380	△44,955
敷金及び保証金の回収による収入	—	48,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,075	—
その他	—	△1,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△525,856	△426,320
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41,700	—
長期借入れによる収入	880,000	310,000
長期借入金の返済による支出	△176,845	△173,774
配当金の支払額	△27,718	△55,538
その他	△3,814	△6,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	629,921	74,269
現金及び現金同等物に係る換算差額	674	△214
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	236,438	△348,907
現金及び現金同等物の期首残高	491,834	564,453
現金及び現金同等物の四半期末残高	728,272	215,546

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	343,259	553,944	897,203	—	897,203
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	343,259	553,944	897,203	—	897,203
セグメント利益	104,951	1,170	106,121	△88,398	17,722

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,398千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1.	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2.
	マーチャント・ バンキング事業	オペレーション 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	339,628	557,354	896,982	—	896,982
セグメント間の内部売上高 または振替高	—	—	—	—	—
計	339,628	557,354	896,982	—	896,982
セグメント利益	118,132	4,954	123,086	△88,061	35,025

(注) 1. セグメント利益の調整額△88,061千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費によりなっております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。